

東広島植物園では、園内での活動を中心に、温室や圃場で見られる季節の花など、さまざまな情報を紹介しています。

・本施設は、宮島自然植物実験所、総合博物館、CSR(総合博物館公認学生ボランティア)など多方面から支援を受けています。

### オオキンケイギクの駆除

昨年に引き続き、6月1、15、20日にフルパール及び学内にて、駆除活動を行いました。今年は、急な斜面での作業も行いました、2年目になり、昨年より分布が縮小しており、活動の成果は出ているように感じます。



### ユウスゲの仲間

ユウスゲの仲間(ワスレグサ属)は、花が一日でしおれます。



イカンノウ

一重咲き。ヤフカンソウより開花期が遅く、全体に繊細で葉も細い。ペニカンソウやハマカンソウとは変種の関係。



ヤフカンソウ

八重咲きの大きな花を咲かせます。中国から渡来した植物と考えられ、三倍体で種子をつけません。



ユウスゲ(キスゲ)

自然度の高い湿地周辺の草地に生育します。夕方5時頃から開花を始め、翌朝には閉じます。夕方の薄明りのなかで、淡黄色の花が目を引きまます。

園芸種のヘメロカリスは、これらと同じ仲間、土壌を選ばず、暑さ、寒さに強いことから、花壇緑化などに使われます。

### 教材生物バザール

5月13日に、教育センターにて、生物バザールに参加しました。コケは学生さん達が採集したもので、特に、ゼニゴケは、毎年、教材として人気が高く好評です。



### “文学部のシンボルツリー” カツラ



カツラの葉

カツラ科の落葉高木。よく萌芽し、しばしば株立ちとなります。北海道~九州の温帯に分布し、山地の谷沿いに生育します。ハート形の葉が対になって並ぶのが特徴で、落葉した葉はしおれると甘いキャラメルのような香りがします。香りの正体はマルトールという成分です。かつて山村では、葉を粉状にしたものを抹香に利用していました。



### 栽培実習・R6年春コース



実習で作った野菜は、しっかりと収穫していきます。

R6年春コースを無事に終了しました。今年もトマトやナス、ピーマンは良く出来ましたが、トウモロコシがカラスの被害を受けて、全部を収穫することが出来ませんでした。園内には、カラスのほかにタヌキなどの哺乳類も野菜を狙って集まっています。



### ひょうたん池の水草保護 地域への取組み



採集と調査

大学に隣接している“ひょうたん池”が令和8年から公園になるという情報があり、市の許可を得て、工事に先立って、池に生育する水草類を採集しました。CSRは、地域の自然保護にも関心を強く持っています。



園内で栽培し、保護しているジュンサイ

### ビオトープの生きもの体験

7月9日に、玉法保育園の園児18名が、ビオトープにて、生きもの体験を行いました。網を使って、メダカやヌマエビ、ヤゴなどを観察しました。小さいアメリカザリガニもたくさん捕まえました。体験の後は、自然観察をしながら小径を歩きました。



### 園内の植物

#### コチョウラン Phalaenopsis aphrodite



##### ラン科

東南アジア原産の多年生の着生植物。肉厚の葉に水分や養分を蓄える。栽培の際は、水のやり過ぎや直射日光と冬の寒さにも注意が必要。贈答用の花としても人気がある。

### 園内の植物

#### フソウゲ Hibiscus rosa-sinensis



##### アオイ科

中国南部またはインド洋諸島原産といわれる常緑低木。ハワイでは生垣として植栽される。日本の露地では越冬できない。花期は7-10月。ハイビスカスと呼ばれることも多い。



【お問い合わせ先】

広島大学 東広島植物園

TEL:082-422-7111 (内線2842)

E-mail: tshioji@hiroshima-u.ac.jp